

パパは太陽～見かたを変えて輝こう～

お父さんの子育て支援事業を展開しているNPO法人ファザーリング・ジャパンの理事で、ふなばしパパ・スクールにおいても講師を務めていただきました東浩司氏にお話を伺いました。



東 浩司さん

Q NPO法人ファザーリング・ジャパンとしての活動内容からお聞かせ下さい。
 二〇〇六年に安藤哲也氏が立ち上げたNPOです。「父親であることを楽しむ生き方」を世の中に浸透させるための父親支援活動を行っています。これまでパパ力検定の実施や父子家庭支援の基金の設立、男性の育休取得促進のプロジェクトなどを手掛けてきました。

又、全国で年間三百回を超えるパパ講座を実施しています。私自身はスクール事業の担当として日本初の父親学校である「ファザーリング・スクール」を立ち上げました。現在、自治体や企業との協働で父親学校を展開しており、このたびは船橋市でも開催する機会に恵まれました。

講座やスクールで「パパが育児をすることの素晴らしさ」を世の中に広めつつ、今後は育児の負の局面、例えば産後うつや子どもの虐待などにも向き合う活動にも力を入れていく予定です。

Q 活動していてよかったと思ふことは何ですか。

第一に挙げられるのは「パパ友」が沢山できたことです。NPOの会員は普通の会社員が多いのですが、みな、仕事との両立に悩みながらも、熱い想いをもって育児に取り組んでいます。彼らの

姿に刺激をもらったり、ずい分と励まされています。次に、育児に関する最新情報が手に入ることで、会員同士はメールリングリストでやりとりし、全国各地で活動するパパ友から鮮度の高い情報が入ります。ときには、メール上で熱心な議論がなされ、そのやりとりから色々な考え方を学び、大変勉強になっていきます。

そして最後に、「生き方」が変わりました。私も以前は、会社人間で、残業や飲み会で深夜帰宅が多い日々でした。それが、育児をはじめてから朝四時起き生活になるなど生活スタイルが変化しました。NPOの活動に取り組みなかで、自分自身が父親であることを楽しむ生き方を実践しています。

Q 活動していてどんなことを感じますか。

「イクメン」がブームになり、国家プロジェクトとして「男性の育児」に取り組み動きがでてきたものの（厚労省イクメンプロジェクトなど）、積極的に育児する男性はまだ少ないです。とくに職場では進んでおらず、例えば男性の育休取得率はあまり上がっていません。育児の負担がママに偏っている状況は変わっていないと思います。

ファザーリング・スクールはテレビや新聞の取材をよく受けます。育児を熱心に学ぶ男性の姿を

紹介いただき、パパが育児する雰囲気が高めるのに大きな効果を及ぼしています。ただ、父親学校がニュースで取り上げられる理由は「育児する男性が珍しいから」。取材が有り難いと思う反面、早く「パパの育児が当たり前になる社会」になってほしいものだといつも感じています。

Q 東さん自身三歳の娘さんとのパパですが、お子さんとはどのように接していますか。

娘とは、なるべく長く時間を過ごすようにしています。娘と一緒にいると楽しく、いつも幸せな気分になれる。実は、私は娘の誕生をきっかけに会社を辞めて独立しました。私に限らないと思いますが、企業務めのサラリーマンの男性は、一所懸命働いても幸せになれないのではないかと不安な気持ちを抱いています。昔は、会社に滅私奉公して出世できる構図がありました。でも、いまは頑張っても

いても給料は上がらない可能性が高く、夫婦で共働きをする家族が増えていく時代です。イクメン・カシメンが注目されるのは、妻と共に男性も家事をすることが求められている社会的な背景もありません。

ほくも家では毎日掃除をして、ときどきパパ料理をしています。娘も三歳になって、よくお手伝いをしてくれます。

Q 育児がうまくできていない人に何かアドバイスはありますか。

育児って思いどおりにいかないことの連続ですね。その思いどおりにいかないことに対して向き合っていくことで、親自身が成長できるのだと思います。

パパ講座で講師をしていると、受講者から叱り方やしつけの質問がよく出てきます。叱り方のテクニックはたしかにあるかもしれませんが、でも、子どもに最も伝わっているのは、親のあり方です。我が子に「思いやりのある子になってほしい」



パパと一緒にうれしいな

と思うなら、まずは自分が周囲に思いやりのある態度で接するのが大切で、子どもに「ありがとう」と言いなさい」と注意する前に、親自身がいつも「ありがとう」と口にするのが一番のしつけです。

育児には正解がないですし、理想的な父親にもなりません。理想を追い求めすぎると足りない現状が気になって、自分や子どもを責める結果になります。周りと比較するのも止めて、この子はこの子でいい、私は私でいいんだと思えるようになれば、育児にまつわるほとんどの悩みはなくなるのではと思います。

Q 最後にパパたちに一言お願いします。

育児の基本は家庭と地域です。我が子の未来のためにも、地域社会が全体で安心して子育てができる働きかけをしたいものです。そのためには、「パパ友」がいると心強いです。

そして、パパは家庭の太陽です。まずはパパが太陽となって輝いて、その光で家族を明るく照らしましょう。パパの育児は自分が楽しいことが大切だと思います。大人が楽しく生きている姿を見せることが、子ども達が未来に明るい希望を抱くための最も大切なメッセージです。自分自身のためにも、我が子のためにも、「笑っているパパ」になりませんか。

クロスワードパズル

1	2	3	4	5
	A		F	
6				C
8		D	9	
				10
11		12		13
			G	
14				15
	H	I		E

タテのカギ

1 物体の輪郭
この指輪をプレゼントされたい
積極的に取り組む気持ち
銀行に行つてしまふ
運がいいと億万長者
お酒・茶・コーヒー・タバコは〇〇品
落ち葉の季節です。これで焼芋をするとおいしい
これに合わないよう運転に気をつけて昔の成績は〇〇、乙、丙でした
小さな力で大きな物を動かす。〇〇の原理

ヨコのカギ

1 合唱コンクールで歌うことを決められた曲
6 アルバイトでコンビニの制服を〇〇された
7 桃太郎のお供は犬・猿・〇〇
8 携帯電話にメールが届きました
11 人の手が加わった様子
14 心臓が脈打っています
15 相手に気に入られようと、これを売ります

A〜**S**までをつなげて読むとどんな言葉になるでしょうか？
 官製はがきに、(1)パズルの答え、(2)お名前、(3)年齢、(4)ご住所、(5)電話番号、(6)この情報誌を讀んでのご意見ご感想(ご記入の上、平成23年1月8日(消印有効)までにご応募ください。ご応募いただいた方の中から、抽選で15名様様に粗品をお送りいたします。抽選の結果、平成23年1月末頃の粗品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

なお、いただいた個人情報、抽選の目的以外には使用いたしません。

応募はがきの宛先
 〒273-10003
 船橋市宮本2-1-4 船橋スカイビル1F
 船橋市男女共同参画センター